

# 畜産とくつく情報

平成 19 年 4 月 23 日  
(通算 第 76 号)  
問い合わせ先  
長野県庁農政部畜産課  
電話 026-235-7234  
chikusan@pref.nagano.jp

## アカバネ病の発生が心配されています 予防ワクチンを接種しましょう！

- 昨年 8 月頃より九州地方を中心にアカバネ病が流行しました。
- 1 歳以下の子牛にも後肢麻痺などの症状が確認され、アカバネ病が疑われています(表)。
- 長野県では平成 10 年以降流行がなく、免疫のできていない牛が増えています(グラフ)。
- 肉用繁殖牛や乳用牛には、6 月までにアカバネ病予防ワクチンを接種し、大切な母牛と子牛を守りましょう！

### アカバネ病とは？

- 牛、めん羊、山羊の 流産、死産、体型異常または奇形 (関節弯曲、大脳欠損) を主徴とするウイルス性疾病
- 原因ウイルスは東南アジアなどに常在
- ヌカカなどの昆虫が媒介
- 発生に季節性(夏～翌春)
- 予防はワクチン接種

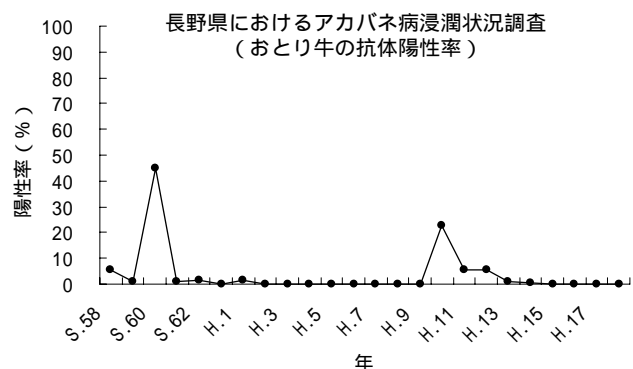


大脳の形成不全

体型異常

写真：H10～11年に県内で発生した症例

アカバネ病を疑う症例の確認状況(頭) (平成18年8月～平成19年1月)			
県	異常産	生後感染	計
山口県	1		1
愛媛県	2	1	3
福岡県	3		3
熊本県	5	56	61
大分県	5	7	12
宮崎県		6	6
鹿児島県	2	29	31
計	18	99	117



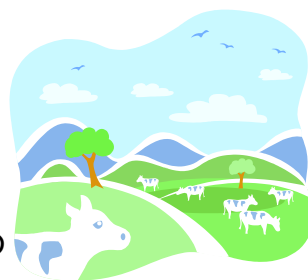
詳しくは、診療獣医師、家畜保健衛生所へお問い合わせください。

# 粗飼料による中毒を防ぎましょう！

近年、輸入牧乾草等による中毒等が数多く報告されています。  
自給飼料の増産や国産の稲わら等の利用拡大を図りましょう。  
粗飼料の使用に当たっては以下のことに注意しましょう。

## 硝酸塩中毒

- 急性の場合は、チアノーゼ、呼吸困難等になり急死します。
- 輸入乾草等の一部に硝酸塩濃度の高いものが確認されています。
- 家畜糞尿たい肥等を多量施用した自給粗飼料では、硝酸塩濃度の高いものもあります。



## エンドファイト毒素による中毒

- 症状としては、増体量の低下（肥育牛等）、受胎成績の悪化、後肢繫部周囲の腫れ、壊疽や頸部のけいれん、歩様異常等がみられます。
- 米国産のライグラスやフェスク類のストローが原因と疑われる中毒事例の報告が増加傾向にあります。
- 毒素の含量が少ない場合でも長期間連続給与すると中毒症状を呈する可能性も示唆されています。

ライグラス類やフェスク類に寄生するカビが産生する毒素

家畜が一度に大量の毒素を摂取しないように

検査をした上で安全な粗飼料を使う  
何種類かの粗飼料を混ぜ合わせて給与する  
ことに心がけましょう。

カビの発育や腐敗がある場合は、その部分の給与を避けてください。

本件に係るご相談、お問い合わせは以下にお願いします。

連絡先	電話番号	F A X 番号
佐久家畜保健衛生所	0267-62-4123	0267-63-3002
上田支所	0268-23-1630	0268-25-7160
伊那家畜保健衛生所	0265-72-2782	0265-72-2765
飯田家畜保健衛生所	0265-53-0439	0265-53-0441
松本家畜保健衛生所	0263-47-3223	0263-47-0101
長野家畜保健衛生所	026-226-0923	026-227-2665